

市民・事業者・自治体が連携したペットボトルの水平リサイクルへ向けた挑戦

取組開始時期	令和元年6月	取組の カテゴリー	⑫環境対策	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門
---------------	--------	----------------------	-------	-------------------------	--	------------------	---	-------------

1. 団体名	東大和市	2. 連携先 の団体	(株)セブン-イレブン・ジャパン、日本財団、東大和市清掃事業共同組合					
---------------	------	-----------------------	------------------------------------	--	--	--	--	--

3. 取組 目的	民間（製造）事業者と連携し、資源物として排出されるペットボトルを行政回収から民間事業者が自主回収することを目指した取組です。			4. 関連する ゴール				
---------------------	--	--	--	------------------------	---	--	--	--

5. 取組経緯

従前より、市民の皆様へ「マイバック 資源を入れて お買い物」を呼びかけ、買い物に行く際には、資源物を持参し、店舗で買い物した商品をマイバックで持ち帰ることを推進していました。この取組をさらに推し進め、事業者との連携により資源として排出されるペットボトルの減量を目指し、令和元年6月から、全国初、産官民連携によるセブン-イレブン店舗でのペットボトル回収事業を開始しました。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

【産官民連携による全国初の取組！】
市内セブンイレブン全店舗におけるペットボトル回収事業を実施し、ペットボトルの水平リサイクルを目指す取組です。

画像（会員投票の際のサムネイル）



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

市民の皆様にとって身近な廃棄物の減量に、産官民が一体となって取り組むことは、持続可能なまちづくりと地域活性化の実現を目指すという地方創生SDGsの目標達成に資するものであり、企業と連携した成功モデルとして全国に水平展開することができる取組です。

ステークホルダーとの連携

廃棄物の減量は、市民、事業者及び市が一体となって取り組むことが求められるものであり、ステークホルダーはこの三者と考えています。取組の円滑な実施に当たり、市は裏方ですが、ステークホルダーの中心的役割として、各ステークホルダー間の調整や制度の周知等に取り組んでいます。

モデル性・波及性

産官民が連携する全国初のペットボトル回収事業として実施していますが、事業開始後、当市への問い合わせが50件以上あり、事業実施へ向け、当市をモデルに多くの自治体において、官民連携によるペットボトル回収事業が広がっています。

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

セブン-イレブンと協働したペットボトル回収事業

産官民で
全国初！



市民

- ペットボトルの分別
- ペットボトルの適正排出

東大和市

- 事業の周知
- 適正排出の広報

(株)セブン-イレブン・ジャパン

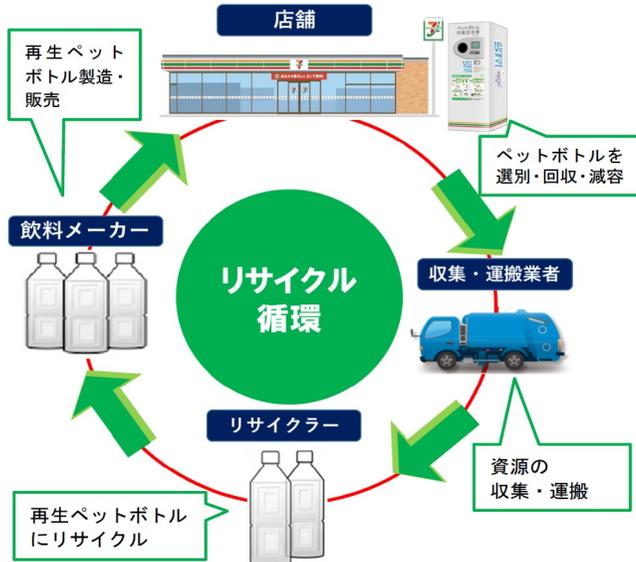
- 回収機の設置・運用
- 回収資源の適正利用

日本財団

- 回収機の設置支援
※費用の半分を拠出

東大和市清掃事業協同組合

- 社会貢献活動による収集・運搬



その他の官民連携事業

使用済みコンタクトレンズ
空ケース回収事業

事業者：HOYA（株）アイケア
カンパニー

実施時期：令和元年11月～

市役所、公民館、中学校（5校）に回収容器を設置し、1個1グラムの小さなプラスチック容器を回収しています。



コカ・コーラと協働したペットボトル回収事業

事業者：コカ・コーラ ボトラーズジャパン（株）

実施時期：令和2年10月～



市役所にペットボトル自動回収機を設置し、ペットボトルの水平リサイクルに取り組んでいます。

使用済みプラスチック容器回収事業

事業者：ユニリーバ・ジャパン・サービス（株）

実施時期：令和3年6月～

使用済みのシャンプーなどのプラスチック容器を、市内公共施設10拠点で回収し、水平リサイクルを目指します。



【事業実施に伴う具体的効果】

行政回収したペットボトルの削減量

20 t 減量

（平成30年度→令和元年度）